

・・・ 商業科の復活 廃止の危機を乗り越える ・・・

<敬称略>

年号	年	西暦	月	日	学 校 記 事	社会事象				
昭	21	1946	2	7	高田商工学校復元の第1回出県陳情	<昭和21年> ・昭和天皇、神格化否定の詔書 ・中等学校令改正(2月) ・米教育使節団来日(3月) ・労働組合法施行(3月) ・新教育指針第1冊分発行配布(5月) ・男女共学について指示(10月) ・日本国憲法公布(11/3) ・金融緊急処置令公布 ・極東軍事裁判所(東京裁判)開廷 ・教育刷新委員会 6・3・3・4 教育体制建議				
				13	第2回出県陳情					
			3	14	商工学校復元認可(校名は「新潟県立高田工業学校」継続)機械科廃止商業科復活、木材工芸科新設、土木・建築と合わせて4科となる(但し発足は4/1付)					
				-	甲種第25回卒業式					
			6	25	学校後援会を、商・工に分離					
			7	2	妙高登山復活					
			8	-	教育刷新委員会設置					
			10	17	旧兵器廠の建物を校舎にするための運動母体として「校舎期成同盟」結成					
				-	ガンバリ行軍復活					
			12	-	商業科の独立運動盛んとなる					
			和	22	1947		1	27	新校長池主隆治就任	<昭和22年> ・教育基本法・学校教育法公布(3月) ・日本国憲法施行(5/3) ・日教組結成(6月) ・新潟県教職員組合結成(6月) ・社会科授業開始(9月) ・文部省教科書検定制度を発表(9月) ・天皇陛下、本県を御巡幸(10月) ・文部省、視学制度廃止(11月)
								3	1	
4	11	工業学校改築予算県会通過								
	-	新学制(6・3義務制)により新制中学校併設(3年以下編入)								
	17	新校舎予定の建物の監視・保護のため巡視開始								
26	-	クラブ組織検討								
	-	新校舎入札、飯塚組落札								
5	30	改造工事着工								
6	1	新校舎建設作業に生徒も手伝う ～15日								
	14	後援会評議員会								
11	7	商工分離独立期成懇談会発足								
	27	新校舎(工業学校)竣工								
12	6	工業科新校舎(高田市本城町/現上越総合技術高校)に移転								
	-	正面玄関腐朽甚だしく改築・竣工(工費7万1千円)								
23	1948	3	17	ライト中尉来校視察、学校らしくなったことを喜ぶ	<昭和23年> ・サマータイム導入(～s26年) ・新制高等学校発足(4月) ・教育委員会法公布(7月) ・マッカーサー書簡により政令201号公布(公務員の争議権否認) ・県教育委員会発足(11月)					
			20	甲種第26回・併設中学校第1回卒業式						
		4	1	学制改革により工業高校と分離独立して「新潟県立高田商業高等学校」と改称 商業高等学校学則制定						
			5	11		「新潟県立高田商業高等学校」開校式挙行				

昭和	24	1949	12	11	校内にベル取り付け (工費 2,115 円)	<ul style="list-style-type: none"> ・人事院発足 (12 月) ・県内高等学校誕生 県立: 47、市町村立: 20 計 67 校 	
			-		宿直室改造・生徒便所移築工事・生徒自転車置場改造		
			3	17	卒業式 (新制高校第 1 回・旧制甲種第 2 7 回・新制中学校第 2 回)		<昭和 24 年>
			-		県教委、学区制案発表 本校は直江津・安塚・新井・能生・糸魚川をその学区とする		<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員特例法公布 (1 月) ・国立新制大学 69 校設置 ・新潟大学開校 (6 月) ・改正労働組合法公布 (6 月) ・湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞 (11 月)
			4	11	夜間経済青年講座開講、同日開校式挙		
				16	学校 5 日制実施 (初めて土曜日)		
				18	商業科 3 学級募集 (授業料月額 200 円となる) 夜間経済青年講座開講の授業開始 (A 講座: 経済・簿記、B 講座: 珠算・速記・タイプ、C 講座: 英語)		
			5	16	市営球場建設工事の勤労奉仕		
			8	27	市速記連盟発会式		
			25	1950	3		-
	4	-	商業科 1 学級増 (商業科 4 学級募集)、初の女子生徒入学 (7 名) 校内時報ベルを自動式に改設 (工費 2 万 5 千円)		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、国定制度から検定制度に変わる (4 月) ・朝鮮戦争開始 (6 月) ・警察予備隊設置 (8 月) ・警察予備隊旧山砲隊跡に駐屯 ・プロ野球、セ・パ両リーグ発足 ・地方公務員法公布 ・県内高校進学率: 36.9% 		
	7	-	週番連絡協議会発足				
	8	25	本校にて高田地区高校新聞連盟幹事会				
	12	15	校内放送設備を施行 (工費 5 万 5 千円)				
			-	玄関出入り口コンクリート工事			
	26	1951	1	-	5 日制に検討を加え、3 学期のみ 6 日制とする 女子便所・職員便所改修、生徒出入口拡張工事、本館と講堂の 渡り廊下を修理 (両側を窓とする)	<昭和 26 年>	
	4		-	生徒会発足	<ul style="list-style-type: none"> ・文部省道徳教育の手引書要綱 (中・高編) を発表 (5 月) ・産業教育振興法公布 (6 月) ・ユネスコに正式加入 (7 月) ・対日平和条約 (9 月) ・日米安保保障条約調印 (9 月) 		
			21	生徒会役員選挙 (委員長に岡村、副に橋本・沢田選出)			
			26	生徒自転車置場 4 坪拡張			
	7		21	増築工事の地鎮祭			
	8		13	上棟式			
			25	事務室改造 (応接室を会計取扱室とする)			
	11		22	玄関及び校門の通りコンクリート工事			
	12		1	校内珠算大会			
	9		増改築工事竣工 (図書室・2 教室・便所/計 92.75 坪)				
	21	六華商事株式会社 (商事及び銀行業務) 創立総会開催 (資本金 41,500 円)、実際業務は翌年 1 月から					
27	1952	2	21	六華商事株の第 2 回株主総会	<昭和 27 年>		
4		-	教務室拡張及び改造 (2 教室を充つ) 東 2 階教室を 2 教室に改造 (従来は 2 教室分を 1 教室に使用) 6 日制授業復活	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ新潟 (現 BSN ラジオ) 放送開始 ・東京でテレビ放送開始 (2 月) ・GHQ 解体 (4 月) ・朝鮮休戦協定調印 (7 月) ・中央教育審議会設置 (10 月) ・警察予備隊、保安隊と改組 (10 月) 			
8		-	講堂床張り (工費 23 万 630 円)				
9		-	産振法による研究指定校に指定される (文部省)				
11		1	六華商事開店披露大売出兼文化祭 (ポスター展、絵画展、書道展)				
28	1953	2	2	生徒会役員選挙 (委員長に畑山、副委員長に深石・村松選出)			

昭和		21	六華商事株の株主総会	<昭和28年> ・NHKテレビ本放送開始(2月) ・学校教育法施行令公布(10月)	
		5	30 自転車置場新設 (10坪)		
		-	学制80周年式典		
		7	- 校舎増築の件、PTA・同窓会に諮る クラブ活動として剣道を復活		
		8	- 六華デパート独立 (資本金30万円)		
	29	1954	4	17 六華商事臨時株主総会	<昭和29年> ・町村合併により、新井市・糸魚川市・直江津市発足
			-	六華銀行、六華商事から分離	
			5	10 第38回創立記念日 (記念式後マラソン大会)	
			11	風紀部主催一年生反省会	
			22	PTA総会	
			23	上越地区陸上大会 (本校当番)	
			25	六華商事パール (歯ブラシ、歯磨き) で新校舎建設に寄附	
			26	汽車通学生自治会	
			6	19 本校にて全国商業高校研究会 (文部省・県教育委員会主催)	
			-	自転車置場新設、講堂・校長室大修理、講堂と本校舎との通路大修理、門柱・門標修理又は新設、六華園及び池新設	
			7	2 講堂改築記念弁論大会	
			8	- 六華銀行独立 (資本金15万円)	
			9	10 特別教室増築入札 (星野組781万円、長谷川組(瓦)39万8千円)	
			10	9 地鎮祭	
			11	24 上棟式	
-	校舎増築竣工式挙行				